

リサイクルについて

E.Y

Y.S

見学所の紹介

- 僕たちは七つ島荒川商店さんにお邪魔しました。荒川商店さんはリサイクルをしているところです。面積は見学した所だけで、17800㎡です。年商54億円だそうです。

鉄の取り出し方

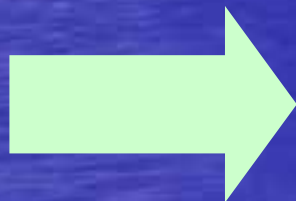
- エンジンを抜いた車をシュレッダーマシンに入れて粉々にします。粉々にした後は鉄とそうでないものに分けます。分け方は電磁石で2回するそうです。そこで質問。「なぜ2回するのですか？」すると



- 2回しないと鉄にごみがかくっついてるからだ。と言われました。

壊し方の他の方法

- 1つ目に、先ほど言ったシュレッダーで粉々にしてしまいます。
- 2つ目にギロチンで壊します。ギロチンでできない場合よく切れるはさみのような機械でします。それでもできない場合は、



人がガスバナーを使ってやります。

車のエンジンが

- 車のエンジンは大きなボイラーの中で溶かされます。溶けたエンジンを型の中に入れて冷えたらアルミになります。その重さはなんと200キログラムだそうです。そのアルミの固まりが積み上げられていました。アルミの固まりはエンジンとしてリサイクルされます。

- 荒川商店さんの資料をいただきました。



港にごみがいっぱい！！

- 港に鉄のごみが数種類山のように積んでありました。その山のように積んだごみは船に積むそうです。プロでも積むのが難しいそうです。バランスを考えないといけないそうです。

荒川商店さんの資料をいただきました。



その他1

- **非金属の機械は中国に送ります。中国に売ると高く買ってくれて日本とは違って人権費が安いので高く売れるそうです。その送られたものは工業製品として隅から隅まで使うそうです。残るものは非金属に付いた土だけです。アルミ、スチール、銅は中国で貴重な製品です。**

その他2 (RPF < 固定化燃料について >)

- このRPF固定燃料は、世界で最も注目されているリサイクル燃料だそうです。回収し分類された廃プラスチックや紙・繊維くず・木くず・機密文書などを、それぞれ破砕し、それらを溶融・圧縮して製造されるリサイクル燃料である。いま、リサイクル事業が僕たちの知らないところで、ここまで進化しているとは驚きました。

考察

- リサイクルについて調べたが前より詳しく分かりました。例えば前までペットボトルなどの1部しかリサイクルしていないと思っていました。しかし、今では紙や車、鉄、アルミ缶などがたくさんリサイクルされていました。

おわり